

高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況について
 (地域メディカルコントロール (MC) 協議会あて調査結果)

◇詳細は、資料 3-1 (別紙) をご覧ください。

問 1 消防機関が地域包括ケアシステムや ACP に関する議論の場へ参画していますか。

※地域 MC 事務局が保健所の場合、消防機関にご確認のうえ回答してください。

※各市町単位で回答してください。

- ① 参画している (7市町) ② 参画する予定である ③ 未定 (20市町)
 ④ その他 (3市(市担当部署に参加できるよう依頼中、参画に向けて取り組んでいく、参加する予定であった会議自体が中止))

(注)南伊勢町は、旧南島町区域と旧南勢町区域で消防本部の管轄が分かれているため、
 29 市町の合計数と一致しない。

問 2 地域 MC 協議会に地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。

※各市町単位で回答してください。

- ① 参画している (1市) ② 参画する予定である ③ 未定 (28市町)
 ④ その他 ()

問 3 地域 MC 協議会で高齢者搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。

- ① 行っている (7MC) ② 行っていない ③ 行う予定である (1MC)
 ④ その他 (1MC(独居高齢者の搬送について情報共有を行ったことがある))

問 4 地域 MC 協議会の年間の開催回数

- ① 1回 (3MC) ② 2回 (3MC) ③ 3回
 ④ その他 (2MC(4回) 、 1MC(年1回開催しているが今年度の開催未定))

問 5 消防機関や地域包括ケアシステム関係者が参画する「多職種連携会議」を開催するにあたり地域で課題があればご記入ください。

- ・地域 MC 協議会でも議題にあがったが、高齢者搬送における諸問題を会議の場で情報共有できることは消防機関として大変ありがたいので参加したい。情報提供や帰宅時の対応等に課題がある。
- ・高齢者福祉施設での救急搬送時に現場出発が遅延する事案が多々ある。
- ・地域包括ケア会議また地域 MC 協議会等で、ACP にかかる問題が取り上げられることが多いが、特に精神科領域の患者における DNAR 等の法的な問題があり、前に進みにくい状況となっています。
- ・高齢者福祉施設での救急搬送時に現場出発が遅延する事案が多々ある。

高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況について(地域メディカルコントロール協議会あて調査結果)

問1 消防機関が地域包括ケアシステムやACPに関する議論の場へ参画していますか。		問2 地域MC協議会に地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。				問3 地域MC協議会で高齢者搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。		問4 地域MC協議会の年間の開催回数		問5 消防機関や地域包括ケアシステム関係者が参画する「多職種連携会議」を開催するにあたり地域で課題があればご記入ください。	
MC名	消防本部名	①参画している ②参画する予定である ③未定 ④その他	構成市町	備考 その他の理由	①参画している ②参画する予定である ③未定 ④その他	備考 その他の理由	①行っている ②行っていない ③行う予定である ④その他	備考 その他の理由	①1回 ②2回 ③3回 ④その他	備考 その他の理由	
奥員	奥員市	①	奥員市		③		①		①		
		①	木曾町		③						
		③	いなべ市		③						
		③	奥員町		③						
四日市	四日市市	③	四日市市		③		①		②		地域MC協議会でも議題があがったが、高齢者搬送における諸問題を会議の場で情報共有できることは消防機関として大変ありがたいので参加したい。情報提供や帰宅時の対応等に課題がある。
		③	菟野町		③						
		③	鯖江町		③						
		③	川越町		③						
鈴鹿・亀山	鈴鹿市	①	鈴鹿市		③		①		①		高齢者福祉施設での救急搬送時に現場出発が遅延する事案が多々ある。
		④	亀山市	市担当部署に対し、会議等開催する場合は消防も参加できるよう、依頼している。	③						
津・久居	津市	③	津市		③		①		④		本会議は年1回、本会議の下級組織である作業部会は年4回開催している。しかしながら、今年度の開催については、未定
伊賀	伊賀市	①	伊賀市		③		④	益居高齢者の搬送について情報共有を行ったことがある。	②		
	名張市	④	名張市	参画に向けて取り組んでいく。	③						
松阪	松阪広域	①	松阪市		①		①		②		地域包括ケア会議また地域MC協議会等で、ACPにかかわる問題が取り上げられることが多いが、特に精神科領域の患者におけるDNAR等の法的な問題があり、前に進みにくい状況となっています。
		③	多気町		③						
		③	明和町		③						
	紀勢広域	①	大台町		③						
		③	大紀町		③						
		③	南伊勢町(南伊勢町旧南島町区域)		③						
三地域	伊勢市	③	伊勢市		③		①		①		
		③	玉城町		③						
		③	度会町		③						
	志摩広域	③	南伊勢町(南伊勢町旧南勢町区域)		③						
		③	志摩市		③						
		③	鳥羽市		③						
東紀州 尾鷲地区	三重紀北	①	尾鷲市		③		③		④	4回	高齢者福祉施設での救急搬送時に現場出発が遅延する事案が多々ある。
		③	紀北町		③						
紀南	熊野市	④	熊野市	R2.3月に予定していたが中止となった。	③		①		④	4回	
		③	御浜町		③						
		③	紀宝町		③						

高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況について
 (市町地域包括ケアシステム担当課あて調査結果)

◇詳細は、資料 3-2 (別紙) をご覧ください。

- 問 1 消防機関が地域包括ケアシステムや ACP に関する議論の場へ参画していますか。
- ① 参画している (7市町) ② 参画する予定である ③ 未定 (19市町)
 ④ その他 (4市(議題によっては参加を依頼する予定、予定していた会議自体が中止、必要に応じて会議に出席を依頼していく))

(注)南伊勢町は、旧南島町区域と旧南勢町区域で消防本部の管轄が分かれているため、29市町の合計数と一致しない。

- 問 2 地域MC協議会に地域包括ケアシステム関係者が参画していますか。
- ① 参画している (1市) ② 参画する予定である ③ 未定 (28市町)
 ④ その他 ()

- 問 3 地域包括ケアシステム関係者が集まる会議で高齢者搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。
- ① 行っている (8市町) ② 行っていない (18市町) ③ 行う予定である (2市)
 ④ その他 (1市(具体的な予定は決まっていないが今後行っていきたい))

- 問 4 地域包括ケアシステム関係者が集まる会議の年間の開催回数
- ① 1回 (2町) ② 2回 (9市町) ③ 3回 (3市町)
 ④ その他 (14市町(4回、必要に応じて、12回など))

- 問 5 消防機関や地域包括ケアシステム関係者が参画する「多職種連携会議」を開催するにあたり地域で課題があればご記入ください。

- ・介護施設からの救急搬送時に、職員の同乗を求められることがある。施設からの救急要請で、傷病者の情報がスムーズに提供されない。
- ・身寄りのない方の救急搬送について、その方の情報が不明な場合や、搬送先の病院で対応について課題と感じる。
- ・現在は医療と福祉の多職種連携会議を開催しており、消防機関にご参加いただくには会議内容を精査する必要がある。
- ・多職種間の円滑な連携を目指すにあたり、それぞれの関係者がお互いの業務内容を十分に把握できておらず、連携の支障となっている。業務が多忙で会議に出席することが負担になっている (特に医師や看護師、介護職)

高齢者の救急搬送に係る課題への取組状況について(市町地域包括ケアシステム担当課あて調査結果)

問1 消防機関が地域包括ケアシステムやACPIに関する協議の場へ参加していますか。		問2 地域MC協議会に地域包括ケアシステム関係者が参加していますか。		問3 地域包括ケアシステム関係者が集まる会場で高齢者搬送に係る課題の協議・情報共有を行っていますか。		問4 地域包括ケアシステム関係者が集まる会場の年間の開催回数		問5 消防機関や地域包括ケアシステム関係者が参加する「多職種連携会議」を開催するにあたり地域で課題があればご記入ください。	
市町名	消防本部 ①参加している ②参加する予定である ③未定 ④その他	MC名	備考 その他の理由	①参加している ②参加する予定である ③未定 ④その他	備考 その他の理由	①行っている ②行っていない ③行う予定である ④その他	備考 その他の理由	①1回 ②2回 ③3回 ④その他	備考 その他の回数
桑名市	①	桑名市		③		①		④	必要に応じて開催
本宮町	①			③		①		④	3回以上
いなべ市	③			③		②		②	
東員町	③			③		②		②	
四日市市	③	四日市市		③		①		②	協会のための協議を重ねる必要はない場合でも救急搬送を伴った場合は、救急が優先される心臓マッサージや気管挿管など医療処置が行われる可能性が高く、本人の意思を尊重して救急搬送が行われるよう法整備を行う必要性が感じます。
菟野町	③			③		②		①	
朝日町	③			③		①		④	12回
川越町	③			③		②		②	
鈴鹿市	①	鈴鹿・亀山		③		①		③	本市では医師会を中心とした会館を定例的に実施しており、多職種連携に関する情報共有や課題の抽出等がスムーズに実施できていると考えています。また、在宅医療・介護連携支援センターによる情報の取りまとめや、各専門職団体の活動支援等、中心的な役割として機能しています。
亀山市	④			③		②		④	
津市	③	津・久居		③		③		③	救急搬送時に、介護支援専門員が預乗を依頼される場合があるため、搬送時に必要な情報を提供する「救急搬送情報用紙」についての検討を在宅医療・介護連携推進協議会の会議(連携体制部会)にて予定している。
伊賀市	①	伊賀		③		②		④	4回
名張市	③			③		③		④	5回(8元年度実績)
松阪市	①	松阪		①		①		③	
多気町	③			③		②		②	
明和町	③			③		①		④	15回以上
大台町	①			③		②		①	
大紀町	③			③		①		④	12回 ※重症は別途報告含む
南伊勢町(南伊勢町旧南鳥羽区域)	③			③		③		④	12回 ※重症は別途報告含む
伊勢市	③			③		②		②	
玉城町	③	伊勢市		③		②		④	9回
度会町	③			③		②		②	
南伊勢町(南伊勢町旧南鳥羽区域)	③	志摩広域		③		②		④	例年4回開催していますが、今年度は新型コロナウイルスの影響により未開催です。
志摩市	③			③		②		②	
鳥羽市	③	鳥羽市		④		②		④	8回
尾鷲市	①	三重紀北	紀北医師会・東紀州地域尾鷲地区MC協議会・三重紀北消防組合の3者で「終末期在宅(要介護)患者急変時の対応」に関する覚書を作成し、運用している。	③		②		④	14回以上
紀北町	③			③		②		④	
熊野市	④	紀南	R2.3月に予定していたが中止となった	③		④		②	具体的な予定は決まっていないが今後行いたいと考えている
御浜町	④			③		②		④	12回
紀宝町	④			③		②		③	